

令和6年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

住吉小学校 1年生

西東京ふるさと探究学習

単元名 「春を見つけよう、秋を探そう」

ねらい

- ・いこいの森公園に行き、春や秋の生き物や植物を探して2つの季節の違いを見つける。
- ・自分たちが住む町にある大きな公園などの自然に親しむ。
- ・自分たちの身近な地域の大きな公園で活動することで、地域への愛着をもつ。
- ・公園のルールやマナーを守って遊ぶことができる。



【5月16日】春を見つけよう

西東京市いこいの森公園へ遠足に行きました。事前に校庭の春探しをしたり、公園などの公共施設の使い方を学習したりして、当日を迎えました。まず、公園内をみんなで歩きながら、春探しをしました。次にグループごとに公園内を散策しながら「いきものみつけビンゴ」をし、たくさんの春を見つけました。最後に広い公園の芝生で思いっきりあそびました。

【10月7日】秋を探そう

西東京市いこいの森公園へ生活科見学に行きました。事前学習として、秋の植物を校庭で探したり、秋を感じるこの話し合いをしたりしました。当日は、どんぐりに様々な種類があることに気付いたり、どんぐりの帽子に興味をもったりしながら活動できました。今回は、春の公園と比べるという視点をもつことで、春と秋の違いに気付く児童が多く見られました。学びを深めながらどんぐり拾いを楽しみました。



【11月8日】秋の自然散策

東大田無演習林に生活科見学に行きました。演習林の先生方に葉や実について詳しく教えていただきました。演習林ならではの、珍しい木や葉がたくさんありました。

初めて出会う木や葉にわくわくしながら散策する子どもたち。10月の生活科校外学習の時よりも深まった秋を楽しみながら、素敵な時間を過ごすことができました。

まとめコラム

住吉小学校からいこいの森公園までは徒歩圏内にあり、1年生が歩くにはちょうどよい距離です。また東大田無演習林は、まるで別世界にいるような雄大な自然が広がっています。このような自然豊かな環境に恵まれて、学習を進めることができました。春と秋、2回同じ公園に行くことで、季節の違いに気付き、学習を深めました。普段気付けない「気付き」ができたことは、大きな成果だと感じています。

今後も身近な自然に興味をもち、様々な「気付き」ができる子どもたちを育てていきます。